



文・写真とも 片桐信和

今回は、鴨々川(かもかもがわ)と創成川(そうせいかわ)の紹介です。豊平川幌平橋付近の取水樋門から札幌駅までの創成川沿い4.6kmを南から北へ向かって散歩しました。短い距離ではありますが、札幌市内の隠れた名所をご案内します。

創成川は、札幌市の中心を南北に流れる14.8kmの運河です。石狩湾から荷物を運び入れるために作られた「大友堀」が前身で、1874年に創成川と命名。取水樋門からすすきの付近の南7条までの上流を鴨々川と呼び、流路は蛇行しています。南7条からは流路がほぼ一直線になり、札幌駅付近までの中央

区を経て北区と東区の境を流れながら太平駅付近(学園都市線)の線路を潜り抜ける所までが中流、下流は北区内を流れます。上流の鴨々川は自然河川でしたが、創成川開削の際に繋げられ運河の一部となりました。鴨々川は中島公園に沿って流れ、すすきの付近になると、コイの放流が行われており、多くのニシキゴイの泳ぐ姿が見られます。



↑ 創成川取水樋門



↑ 鴨々川の始まり(南16条西4付近)



↑ 中島公園内を流れる鴨々川(中島公園1-5)



↑ コンサートホール Kitara 裏(南12条西6-1)

中島公園内の鴨々川には、水遊び場が設けられています。公園内の札幌コンサートホール Kitara の裏を流れる川岸には、柳の木が植えられ、平成12年度に緑のまちづくり賞・緑の部門で奨励賞を受けています。生憎の薄曇りの空でしたが、晩秋の札幌市内の紅葉を楽しむ事ができました。